

我孫子市史研究センター・会報267号 (通算574号)

発行・編集 我孫子市史研究センター

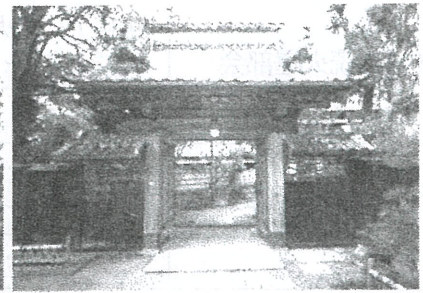
発行日 令和6年8月28日

布佐・榎本家住宅が国の登録有形文化財に登録される

布佐の榎本家は、下野国都賀郡の出身で、徳川三代の時世の頃に布佐に移住したといえます。利根川の河川交通業、鮮魚輸送問屋を営み財を成し、明治期以降は衆議院議員・県会議員・布佐町長などを輩出し「布佐の御三家」ともいわれた地域の名望家です。



主屋



正門（一間造の薬医門）

明治から昭和初期に建てられた主屋・離れ・北土蔵・正門・稲荷社の6棟が、令和6年7月18日に国の登録有形文化財に登録されました。
(写真：あびこ電腦考古博物館より引用)

市史研結成50周年記念事業 ストリート展示開催のお知らせ

市史研は、来年11月30日で創立50周年を迎えます。我孫子の歴史を市民とともに楽しむ活動として、アビスタでストリート展示を開催します。今回は、新規作成のパネルを展示します。

展示期間：9月25日（水）12時～10月5日（土）17時

展示パネル：「我孫子の古代・中世を訪ねる」（新規作成）・「^{なまみち}鮮魚街道」・「遺跡・史跡にみる新木の昔」・「東我孫子の文化と歴史」・「我孫子に郷土資料館を」・「我孫子の歴史を楽しもう」市史研紹介ポスターなど

前回と同様に、9月28日（土）・29日（日）・10月5日（土）13時半～17時半、会員が会場で説明に当たります。

榎本家の三層楼と布佐八景の扁額

布佐八景とは、布佐の八景勝を「愛宕暮雪・刀寧帰帆・竹岱秋月・竜崖夕照・西山曉鐘・鷺湖落雁・千崎孤松・圀橋夜雨」の七語絶句の漢詩に詠じたものです。作者は、布佐小学校の初代校長・松倉潜蔵（号、厚載）といわれています。亡き松岡文雄先生（医師、元市史研顧問）が書かれた「懐郷—布佐八景随想—」（『我孫子市史研究5号』）に、故斎藤唯之助翁が書き残した記録から引用した次のような一文があるので紹介したい。

「松倉厚載が亡友岡山宗作（号竹岱）と合韻合作したものだが、明治二十九年初秋、榎本次郎右衛門氏が同邸に新築した三層楼の竣工を祝い、一（つ）は同氏の需に応じ、一（つ）は竹岱翁の友情を想いつ旧作を録する」と、厚載が扁額に自ら揮毫したものだという。

しかし、この扁額が掲げられた三層楼の邸宅は、明治四十年代当初、火災に遭っているため、扁額も類焼したか倉庫に保管されているか分からないとある。